



横浜市 技連協だより

第 3 号

平成 11 年 10 月 1 日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上三寶
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7
電話 045-681-6553 FAX 045-664-9400

平成11年度 技連協総会開催する

平成十一年七月二十六日(月)午後四時から、横浜市技能文化会館多目的ホールで平成十一年度総会が開催されました。当日は、総構成員一六二名に対し、出席者は一三四名、委任状提出一七名合計一五一名で総会は成立しました。

川上会長から「今日の技能職を巡る厳しい環境の中、昨年結成三十周年を迎え、今年度は初心に戻り、新たなスタートの年としたい。また、市民との交流の場などを通じ、一層結束して、技能職、技能職者の存在をアピールして行かなければならない」との挨拶がありました。この後、来賓である佐藤横浜市民局長の御挨拶と新役員及び新規入会団体の紹介がありました。

総会では、次のとおり、議事・報告が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

- 1 平成十年度事業報告について (國峯副会長)
- 2 平成十年度収支決算報告について (堀会計理事)
- 3 平成十年度会計監査報告について (田村監事)

- 4 平成十一年度事業計画(案)について (國峯副会長)
- 5 平成十一年度収支予算(案)について (堀会計理事)

その他として、「よこはま技能まつり」(十月二十四日(日)山下公園)への協力依頼と「2002年のワールドカップサッカー決勝戦」の成功に向けて応援して行くことを決議しました。

引き続き、川上会長から5名の前理事さんへ感謝状を贈呈、畠山副会長の閉会の挨拶で無事終了となりました。総会終了後、交流会を開催。



2002年ワールドカップサッカー横浜開催を成功させよう!



お招きした高秀秀信横浜市
 長は、御挨拶の中で「モノづくりの大切さ、立派な技能を若い世代に継承し育ててもらいたいこと」などのお話がありました。また、2002年ワールドカップ決勝戦の横浜招致に対する協力へのお礼なども述べられました。

市長も交えて、和気あいあいの雰囲気なかで、会員相互の親睦を深めることができました。

平成11年度 横浜市技能職団体連絡協議会役員名簿

三 役

役職名	氏名	職種	所属団体
会長	川上 三寶	建築士	全日本建築士会神奈川県支部横浜分会会長
副会長	國峯 正美	印章彫刻士	横浜マイスター会代表幹事
〃	畠山 滋	洋服裁縫師	神奈川県洋服商工業協同組合理事長
会計理事	堀 正道	調理師	神奈川県全調理師協会副理事長

常任理事・監事

役職名	氏名	職種	所属団体
常任理事	古梶 清嗣	漆器工芸師	神奈川県漆器工芸組合理事長
〃	小駒 精一	花卉装飾	神花協横浜地区生花商協議会会長
〃	菊池 武久	鍼灸マッサージ師	横浜市鍼灸マッサージ師会会長
〃	藤野 永次	捺染型製造技術者	神奈川県捺染型協同組合理事長
〃	大隅 甲子雄	製菓技術師(和菓子)	横浜市菓子協議会会長
〃	石川 泉	和裁技能士	神奈川県和服裁縫協同組合理事長
〃	鳥澤 俊子	婦人服裁縫師	神奈川県洋装組合連合会副会長
〃	塩田 力	板金技能士	横浜市板金組合連合会会長
〃	高見澤洋一	理容師	横浜市理容連合会会長
〃	中澤 俊男	看板製作士	横浜市屋外広告美術協会会長
〃	加藤 憲一	和裁技能士	横浜市技能職団体連絡協議会青年部長
監事	田村 実	繊維加工	横浜繊維加工協同組合理事長
〃	望月 清三	煮豆惣菜製造業	横浜食品煮豆惣菜組合理事長

平成11年度 横浜市技能職団体連絡協議会新規加入団体

新規加入団体名	職種	代表者職氏名
全日本司厨士協会関東総合地方本部神奈川県本部	調理師(西洋料理)	会長 清水 郁夫
神奈川県中日調理師会	調理師(中国料理)	会長 揚井 國雄
横浜蕎麦商業協同組合	調理師(そば打ち)	理事長 須田 茂松
横浜市洋菓子協会	製菓技術師(洋菓子)	会長 藤江 喜朗
全日本着付士協会横浜支部	着付士	支部長 高橋 清子

※横浜市技能職団体連絡協議会は、上記新規加入団体を加え、総加入団体は54団体となりました。

前理事感謝状贈呈者

氏名	職種	団体名
大藤 定雄	建築大工	神奈川県建設労組連合会横浜地区協議会
高橋 慶治郎	畳工技能士	横浜畳組合連合会
川上 浩	建築職	首都圏建設産業ユニオン横浜支部
今村 登世二	美容師	横浜マイスター会
三木 慎介	看板製作士	横浜市技能職団体連絡協議会青年部

三市青年部交流会

(横浜市)開催!

平成十一年九月二十六日(日)、第十四回三市技連協青年部交流会を横浜市中区末吉町にある麵コミュニティセンターで開催しました。

三市交流会は横浜、川崎、藤沢の技連協青年部の持ち回りで毎年行われているもので、最近では平成八年の豆腐作り(横浜)、九年のてん刻作り(川崎)、十年のタイルモザイク作りというように異業種実習型の交流会が続いています。

今年の交流会は横浜蕎麦商業協同組合の協力により「手打ちそば」の実習を行いました。当番の横浜市をはじめ、川崎市、藤沢市、オプザーバーとして静岡県富士市の青年部の皆さん四十二人が参加しました。

そば打ちは各都市混成の実習班に分かれ、蕎麦商組合さんの指導のもと行われましたが、各都市の青年部の皆さんは、日頃の仕事とは勝手の違うそば打ちに悪戦苦闘。粉まみれになりながらもそば作りを楽しんでいました。

実習後、同館大会議室で懇親会が行なわれ、自分たちのそばを試食しながらの意見交換となりましたが、形の良し悪しはさて置き、打ちたて、茹でたての自製そばを参加者たちは満足そうに味わっていました。



技連協全国連絡会

名古屋市にて開催

昨年、神戸市において発会、開催されました技連協全国連絡会の第二回目が七月八、九日の両日にわたり、名古屋市に

おいて開催され、横浜市技連協から川上会長、國峯副会長が出席しました。

初日には、勝田徳男名古屋市民局勤労福祉室長から名古屋市の進める技能職振興策について基調報告があり、引き続き、各都市の技連協の代表者より十年度の活動状況について順次報告、意見交換を行いました。

当横浜市からは、平成十年度が技連協結成三十周年の節目の年でありましたので、特に席上、記念誌「技連三十年のあゆみ」を配布させていただき、経過と活動報告をいたしました。

翌日は、名古屋市はもとより日本を代表する企業となりましたトヨタ自動車の前身であり、発祥の地である、豊田佐吉の起こした「豊田自動織機」の旧工場跡地を利用した、トヨタの歴史と技術を一堂に展示する「産業技術記念館」を見学しました。

なお、平成十二年度は横浜市がこの全国連絡会の当番市に当たっております。今後、各団体の皆様のお知恵もいただきながら内容、進め方などについて企画していきたいと思っております。

平成11年度横浜マイスター・ 技能職育成団体決まる!!

平成十一年度横浜マイスター称号授与式が、九月七日(火)横浜市長公舎で行われ、次の方々が授与されました。

★横浜マイスター(敬称略五十音順)

・クリーニング師 岡田 敏明

クリーニング発祥の地である横浜において、衣類を美しく保つため、繊維や汚れに合わせたクリーニング、優れた染み抜き技法、丁寧な仕上げに、卓越した技能を發揮しています。

・タイル技能士 鎌倉 重治

伝統的な積み上げ張り工法はもとより、新しい圧着工法などにおいても、技能の研鑽を重ね、美観や耐久性に高い評価を得ています。

・花卉装飾 小泉 徹

心を込めた小さな花束から、ウエディングブーケ、デパートのディスプレイ、ガーデンングなど花卉装飾全般を手がけ、全国的にもその技能と指導力を認められています。

・竹細工 森谷 正春

横浜市内で唯一竹細工製品を伝統的な技

法を守りながら、素材から完成品まで一貫して製作しています。

★横浜市技能職育成団体(五十音順)

・神奈川県クリーニング環境衛生同業組合

後継者技能向上研修会やYシャツ仕上げの実演、簡単な染み抜きなど基礎的な技能者講習会を市民向けに実施し、会員の技能向上や市民向けPRに努めています。

・全日本司厨士協会関東総合地方本部

神奈川県本部

料理の味を追求するのみならず、食の健康と安全性を重視した会員向け講習会の実施や老人ホームでの高齢者食事サービスなど会員の技能向上や福祉分野でのサービスに努めています。

・横浜石工連合組合

会員向け技能検定講習会・じん肺予防対策研修会や小学生対象に石を使用した体験学習の実施など広く技能向上と振興に努めています。

・横浜市左官業協同組合

会員向け技能検定講習会や青年など幅広い参加を得ての日曜技研、中学生を対象にした技術指導などを実施し、会員の技能向上や市民への技能普及に努めています。

10月24日(日)
10:00~17:00

技能まつり

山下公園にて

皆様からも来場PRをよろしく

コーヒーは、火でもっとうまくなる。



直火珈琲 [ファイア] キリン
新登場

Feel the FIRE.



のんだあとろサイズクル

KIRIN Beverage

キリンビバレッジ

インターネットホームページアドレス <http://www.beverage.co.jp>